

環境活動をグローバルに強化する行動計画

FDKグループ第6期環境行動計画

2010年度から2012年度末までの3ヵ年計画である第6期環境行動計画では、気候変動問題や生物多様性などの環境課題を踏まえた計画としています。第6期環境行動計画からは、国内だけでなく海外工場を含めたグローバルな目標を設定して活動展開しています。

2011年度からは、新たにグループ会社となったFDKトワイセルとFDK鳥取を含めた目標設定を行い、活動を推進します。

FDKグループ第6期環境行動計画と2010年度の結果

項目	目標(2010~2012年度)	2010年度目標	2010年度結果
環境配慮設計の開発拡充	スーパーグリーン製品を3機種以上開発	・環境配慮製品100% ・グリーン製品10%以上	・環境配慮製品100% ・グリーン製品化率16%
	新規開発品の環境効率ファクター1.2以上を達成する	・基準・細則整備	・細則案作成中
地球温暖化防止	エネルギー消費CO ₂ 排出量を1990年度実績比で6%削減する	・2%削減 排出量44,055トン	・11%削減 排出量39,793トン
リデュース、リユース、リサイクル(3R)活動による環境負荷低減	化学物質排出量を2007年度実績比で10%削減する	・4%削減 排出量50.9トン	・23%削減 排出量41トン
	廃棄物発生量を2007年度実績比で20%削減する	・11%削減 発生量1,768トン	・27%削減 発生量1,456トン
	製品の資源再利用率90%を維持継続する	・90%以上	・92%
グリーン調達の推進	取引先のEMS構築率を向上する	・構築率90%	・92%
環境マネジメントの運営強化	本社部門のEMS統合を推進する	・統合	・未統合
	FDK鳥取、FDKトワイセルと連携しEMS統合へ向けて活動する	・連携運営	・独立EMSにて運営中
地域社会とのコミュニケーションの深耕と生物多様性への貢献	地域社会と連携し環境貢献／社会貢献活動実施と生物多様性の取り組みを行う	・地域イベント参画 ・生物多様性保全の啓蒙推進	・地域イベントに参加 ・ウェルカムクリーン作戦に参加

地球にやさしい「製品の開発」

環境に配慮した製品

FDKグループでは、新製品開発時にデザインレビューを行い製品のつくりこみの重要な要素として環境面に関する評価(製品環境アセスメント)を行っています。さらに2004年度からは、「スーパーグリーン製品」の開発、2007年度からは環境効率ファクターの向上にも取り組んでいます。

無停電電源装置(DC-UPS)

「高出力」でかつ高温環境下でも「長寿命」の特徴を有する「新開発ニッケル水素電池(Ni-MH)」を採用したUPSです。①変換口②設置スペース③バッテリ交換頻度④待機電力の4つを削減しています。Ni-MH 寿命モード解析により、業界で初めてとなる「高精度寿命予測機能」の搭載を実現しました。

大容量リチウムイオンキャパシタ

充放電のサイクル寿命が長く、大電流の急速充放電が可能な蓄電デバイスです。余剰電力を蓄えておいて、必要なときに放電することで、電力の有効利用や安定供給が可能となります。高温環境下での使用も可能としています。

LEDランプ・電源

蛍光灯(40W・20W)の置き換えタイプの人と環境にやさしい照明です。蛍光灯と比較すると、約60%の省エネ及びCO₂排出量の削減効果が得られます。独自の特殊光拡散技術により、ドットパターンとグレア(まぶしさ)を解決しました。

省電力
・
長寿命

無停電電源装置
Ni-MH搭載DC-UPS

電力の
有効
利用



大容量リチウムイオンキャパシタ
EneCapTen®

CO₂
60%
削減



LEDランプ電源